

本アンケートは子育て世帯を含む若者に対して、沖縄本島への自動車航送料金支援の効果を押し量る重要な調査です。ご協力よろしくお願いします。

<<実施する背景>>

現在、奄美群島振興交付金により航空及び船舶の旅客運賃が軽減されておりますが、沖縄本島を生活圏とする与論島民が、マイカーなどを使って移動するには負担が大きく、フェリーの運賃軽減の効果が十分に活かしきれていない可能性があり、特に活動が多岐に渡る若者・子育て世帯の定住環境に影響していることが提起されています。令和6年度の子育て世帯ニーズ調査では、「子育ての不安や負担を解消するためにどのようなことが必要か」との問いに対し、「島外への旅費支援」が第1位で、その後も少子化の要因として「島外への交通費」に高い関心が寄せられており、病院や買い物など離島の不利性の緩和に課題があることが示唆されました。

奄美群島で最も沖縄本島に近く、最も沖縄県との関りが深い本町であればこそ、生活や仕事、医療に関する行動が、特に経済的な負担により制限されていることが想定されており、今後これを軽減していくことで若者や子育て世帯の定住環境が改善され、少子高齢化対策や、地域間交流による人的資源の育成と確保、地域経済の活性化を図るべく、航送料金軽減の需要についてアンケート調査を行います。

アンケート調査協力回答者（助成金対象者用）

※ 助成金対象者は6ヶ月以上与論町に住んでおり、①若者：年度当初時点で18歳以上（高校生を除く）35歳以下の男女若しくは、②子育て世帯：与論高校生以下の年齢の島内に住んでいる扶養児童がいる世帯。利用上限は若者1人2回。もしくは年度当初において年齢が36歳以上となる扶養者が片方のみ、もしくは両方が36歳以上の子育て世帯において1世帯2回まで。どちらか一方での利用とし、重複しての利用は出来ません。

例：夫が35歳、妻が35歳の子育て世帯で、はじめに若者として利用した場合はその世帯は若者としてのみ利用が可能（夫2回、妻2回）。はじめに子育て世帯として利用した場合は子育て世帯の上限2回となります。

※ 本アンケートは集計し役場内外への需要に対する根拠資料として活用されますが、住所氏名など個人が特定される形で集計はされることはありません。

※ 本アンケート調査にご協力いただき、助成金を受ける方は対象資格の確認のため個人情報保護法及び住民基本台帳法による定住年月日、年齢及び世帯の確認等に同意されたものとみなします。

（←チェック） 上記※各項目について確認し同意しました。

↓チェック☑

住所：大島郡与論町

若者としての回答

氏名：_____ 年齢：_____

子育て世帯としての回答

連絡先：_____ eMail：_____

職種：_____（下記から選択し番号を記入）

職種：①農業・林業、②漁業、③建設業、④医療・福祉業、⑤製造業、⑥電気・ガス・水道業、⑦情報通信業、⑧運送・郵便業、⑨小売・卸売業、⑩金融・保険業、⑪不動産・リース業、⑫宿泊・サービス業、⑬学術研究・専門技術サービス業、⑭生活関連サービス・娯楽業、⑮教育・学習支援業、⑯複合サービス業、⑰サービス業、⑱公務職、⑲その他分類不能の業態

はじめに

※ 通帳の写し「表と見開き1ページ目」を提出ください。可能な限り町指定金融機関「あまみ農協」口座をお願いします。すでに水道料金引き落とし口座など登録されている口座を振込指定口座とする場合は写しの提出は不要です。

※ [＜与論→沖縄→与論＞間の車両（往復）及び貨物輸送の領収書の写しを添付してください。それぞれ100円未満を切り捨てた半額を、協力助成金としてご指定の口座に振り込みます。

（ 上限：車両往復15,000円/回、 貨物往復若しくは片道15,000円/回 ）

※ 同意書及びアンケート記載の訪問先（Q3、Q4）の滞在を証明する宿泊施設などの領収書などの写しを1つ添付してください。（Q5の設問）

Q8. 車両及び貨物輸送費の軽減は若者や子育て世帯の住環境にどれほど重要ですか。次の各項目について5つの評価から選択し記入してください。

【 1：とても重要 2：重要 3：影響なし 4：悪影響 5：深刻な悪影響となる 】
移住・定住 () 生活環境向上 () 気分転換・旅行 () 島外への転出抑制 ()
医療・福祉 () 仕事・経済活動 () 教育・スキルアップ () 子供の遊び ()

Q9. 前の質問で特に重要と思うもの1つに○を入れてください。

移住・定住 () 生活環境向上 () 気分転換・旅行 () 島外への転出抑制 ()
医療・福祉 () 仕事・経済活動 () 教育・スキルアップ () 子供の遊び ()

Q10. あなたにとって沖縄本島への移動費の軽減はどのような価値に直結すると考えますか？

下の選択肢から3つ以内で答えてください。 回答【 】

- ①若者の定住 ②子育て世帯の定住 ③高齢者の定住 ④所得の向上 ⑤医療の確保
⑥福利厚生 ⑦生活の質の向上 ⑧その他（自由記述： ）

■■■■■ あなたの考えをお尋ねします ■■■■■

Q11. 島外への移動・旅行を考えたとき、多くの若者が「あきらめる」ことが多いと思う理由を1つ選んでください。（本アンケートでの若者とは18-35歳の男女） 回答【 】

1. 用事はあるけど費用が高く旅行をあきらめる
2. 費用の面より日程や時間的な制約により旅行をあきらめる
3. 友人や仕事仲間など他人のスケジュールが合わず旅行をあきらめる
4. 旅行目的の予約などが確保できず旅行をあきらめる。
5. 特にネックになることはない
6. その他（自由記載： ）

Q12. 島外への旅費が高いことが次の3つの項目にどのような影響を与えていると感じますか。選択肢から選んでそれぞれ番号を記入してください。

【1. とても悪い影響 2. 悪い影響 3. 影響しない 4. 良い影響 5. とても良い影響】
I. 若者減少【 】 II. 出生数低下【 】 III. 移住を考える人へのイメージ【 】

Q13. 最近のある調査において、国内の個人宿泊旅行の平均交通費は15,000円程度であると報告があります。与論で生活するうえで、交通費に対してどれほどの割引支援があれば同等の水準になると考えますか。持ち点を10点とし、各項目に振り分けて回答してください。

※必要無ければ未記入 ※合計が10となるよう振り分け ()内は片道参考

航空運賃 【 】割（参考：離島割 鹿児島 24,800円、沖縄 17,070円）

船舶旅客運賃 【 】割（参考：離島割 2等 鹿児島 11,550円、本部 1,870円、那覇 3,230円）

船舶自動車航送料 【 】割（参考：車 4~5m 鹿児島 90,600円、本部 16,160円、那覇 25,060円）

Q14. あなたは次の地域について生活圏※であると考えていますか。生活圏※と感じている地域があれば○を入れてください。

沖縄本島【 】 沖永良部島【 】 徳之島【 】 奄美大島【 】 鹿児島本土【 】

※医療・娯楽・買い物など日常生活のうえで行政区画に関係なく密接に関係している範囲。

Q15. 次のうち、与論で生活するうえで常時軽減されるとうれしい項目を1つ選んでください。

回答【 】

- ①沖縄への航空運賃 ②鹿児島・奄美大島への航空運賃 ③沖縄への船舶車両航送運賃
④鹿児島・奄美群島への船舶車両航送運賃 ⑤沖縄での宿泊費 ⑥鹿児島での宿泊費

Q16. 島外への旅行において、多くの若者が航送料の他に負担に感じていると予想するもの上位3つを選んで1～3の順位を記入してください。

移動先の港・空港から目的地までの移動時間【 】 船代・飛行機代・バス代など【 】
フェリーの移動時間【 】 宿泊に費やさなければならない時間【 】 宿泊費用【 】
買い物やレジャーに費やす費用【 】 船や飛行機の設備・機能【 】 情報の不足【 】
天候による欠航・抜港【 】 仕事の調整を行う手間【 】 親や配偶者・子供の調整【 】
準備などの手間【 】 旅行前や帰る時の焦燥感【 】 外泊することの身体的負担【 】
知らない人に会う不安【 】 他人に旅行を聞かれる煩わしさ【 】 家を空ける不安【 】

■■■■■ その他 ■■■■■

Q17. 近年ほかの自治体では、結婚や恋愛についてマッチングアプリを用いた行政支援が行われるようになってきました。本町にとって同じく利用する場合に課題となるものを次のうちから3項目を選び1～3の順位をつけてください。

コーディネーターの不足【 】 アプリ登録費用【 】 支援及び運営団体の不在【 】
島外へ参加する場合の旅費【 】 来島いただく場合の旅費【 】 イベント開催の費用【 】
若者の人数が少ないこと【 】 若者が参加しようとする意識【 】 秘匿性の確保【 】

Q18. 人口約5,000人（うち0-4歳180人、5-19歳700人、20-35歳330人、面積4km×5km）の与論島で、島の生活がより魅力的になると思うご提案を一つご記入ください。（任意回答）

自由記入

参考

島外チャレンジ補助金、2拠点居住支援金、教育支援、旅費全般軽減、島外教育機会
コンビニ、旅行代理店、屋内アスレチックパーク、避難・防災施設、〇〇研究所
学生寮、団地、大型DIYセンター